

日本雑草学会 第52回大会

平成25年4月12日（金）～14日（日）

於：京都大学農学部（京都市左京区）

- ▶ 大会概要
- ▶ プログラム・会場案内
- ▶ ミニシンポジウム・一般講演
プログラム（詳細版）
- ▶ ポスター発表演題・著者一覧
- ▶ 若手の会 案内
- ▶ 会場アクセス

※ 参加登録・参加費についてはこの案内には記載していません。

ウェブサイト (<http://wssj.jp/conference/>) をご覧ください。

日本雑草学会第52回大会の概要

会期：平成25(2013)年 4月12日(金)～ 4月14日(日)

会場：京都大学農学部(京都市左京区)

連絡先：大会委員長 富永 達

大会幹事 三浦励一・下野嘉子

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学農学研究科 雑草学研究室 気付

大会ウェブサイト：<http://wssj.jp/conference/>

E-mail: conf2013@wssj.jp 電話：075-753-6062(電話は当日はつながりません)

1. 若手の会(4月12日14:30～17:30)

「変量効果について知りた～い！」&「統計萬相談会♪」

世話人 水口亜樹・今泉智通・下野嘉子・市原実

詳細は後のページのご案内をご覧ください。

2. ミニシンポジウム(4月13日9:20～10:50)

1) イネやノビエが水田冠水条件で発芽～定着できるしくみ：植物ホルモンが制御する低酸素応答

オーガナイザー：吉岡俊人(福井県大)

2) 研究成果を外来植物管理“政策”に生かす：私たちができることを考える

オーガナイザー：西田智子(農環研)・黒川俊二(中央農研)・水口亜樹(福井県大)

詳細は後のページのプログラム(詳細版)をご覧ください。

3. 一般講演(82題、4月13日11:00～12:30および4月14日10:00～16:45)

演題・発表者・座長等の詳細は後のページのプログラム(詳細版)をご覧ください。

4. ポスター発表(50題、4月13日11:00～4月14日15:00)

発表者がポスターの前で説明を行うコアタイムを下記のとおり設けます。

奇数番号：4月13日13:30～14:00 および 4月14日9:15～9:45

偶数番号：4月13日14:00～14:30 および 4月14日8:45～9:15

詳細は後のページの「ポスター発表 演題・著者一覧」をご覧ください。

5. 平成25年度総会および学会賞授賞式(4月13日14:45～16:00)

6. 学会賞受賞者講演(4月13日16:00～16:45)

業績賞 沖 陽子(岡山大学大学院環境生命科学研究科)

「雑草の多面的機能を活用した環境修復に関する実証研究」

座長：小林勝一郎

業績賞 渡邊寛明((独)農研機構 中央農業総合研究センター)

「埋土種子動態の解析に基づく水田雑草の総合的管理戦略の構築」

座長：森田弘彦

7. 懇親会(4月13日17:30～19:30)

会場：京大生協 吉田食堂(最終ページの会場アクセス図をご覧ください)

8. 企業展示

会期中、休憩室において、事前に申し込みのあった企業による展示が行なわれます。

プログラム(概要版)

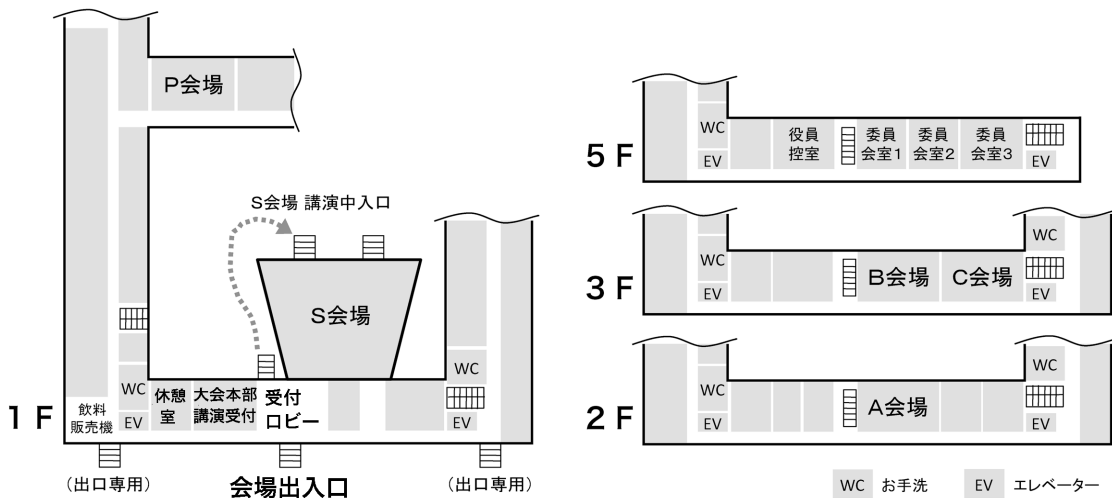
(8:40受付開始)

時間	A会場 (W214)	B会場 (W314)	C会場 (W322)	S会場 (W100)	P会場 (大会議室)	
	9:20~	ミニシンポ A1 イネやノビエが水田冠 水条件で発芽~定着 できるしくみ	ミニシンポ B1 研究成果を外来植物 管理”政策”に生かす	閉場	閉場	11:00までに ポスター掲出
10:50~	休憩(10分)			閉場		ポスター公開
11:00~ (6題)	一般講演 A2 水稲用除草剤 水田雑草	一般講演 B2 有機栽培水稲 畦畔管理	一般講演 C2 新たな雑草問題			
12:30~	閉場(1時間, 昼食)			休憩(15分) 総会 学会賞授賞式 受賞者講演	ポスター公開	
13:30~	閉場					
14:00~	閉場					
14:30~	閉場			休憩(15分) 総会 学会賞授賞式 受賞者講演	ポスター公開	
14:45~						

(17:30から別会場で懇親会)

8:45~	閉場			閉場	コアタイム(偶数番)
9:15~	閉場				コアタイム(奇数番)
9:45~	休憩(15分)			閉場	ポスター公開
10:00~ (8題)	一般講演 A3 水稲用除草剤 水田雑草	一般講演 B3 畑雑草 畑地用除草剤	一般講演 C3 雑草生態		
12:00~	閉場(1時間, 昼食)				
13:00~ (8題)	一般講演 A4 水田雑草/海外/ アレロパシー	一般講演 B4 畑雑草 畑地用除草剤	一般講演 C4 雑草生態 除草剤抵抗性	閉場	ポスター撤去
15:00~	休憩(15分)				
15:15~ (6題)	一般講演 A5 アレロパシー/天然物	一般講演 B5 畑雑草	一般講演 C5 除草剤抵抗性		
	閉場				閉場

(16:45終了)



本会場案内図 (農学部総合館西棟) N

ミニシンポジウム・一般講演プログラム（詳細版）

※ 著者が連名である場合は発表者に○を付しています。

※ 発表者名の左に*が付された発表は、ベスト講演賞の選考対象（若手による発表）です。

4月13日(土)						
A会場		B会場		C会場		
開始時刻	Session A1 ミニシンポジウム	Session B1 ミニシンポジウム	(閉場)			
9:20	イネやノビエが水田冠水条件で発芽～定着できるしくみ：植物ホルモンが制御する低酸素応答 オーガナイザー：吉岡俊人(福井県大) 1.「湿生型および中生型ノビエのABA代謝不活化経路選択による種子発芽制御」吉岡俊人(福井県大) 2.「イネ芽生器官の生育における植物ホルモンの作用と直播栽培への応用」渡邊肇(新潟大院農) 3.「エチレンと根の酸素通気：イネの根が低酸素環境で生きるために獲得した適応戦略」塩野克宏(福井県大) コメント：阿部淳(東京大院生命農)・内野彰(中央農研)	研究成果を外来植物管理“政策”に生かす：私たちができることを考える オーガナイザー：西田智子(農環研)・黒川俊二(中央農研)・水口亜樹(福井県大) 1.「行政の立場から外来生物法の今後を考える」東岡礼治(環境省) 2.「最新研究の動向」赤坂宗光(東京農工大) 3.「“政策”にいかす研究と、“現場”にいかす研究」大澤剛士(農環研) パネルディスカッション：橋本佳延(人と自然の博物館)ほか				
休憩						
開始時刻	Session A2 水稲用除草剤／水田雑草	Session B2 有機栽培水稲／畦畔管理	Session C2 新たな雑草問題	座長	座長	座長
11:00	1 新規水稲用除草剤プロピリスルフロンの作用特性—③ノビエに対する効力 ○梶原ゆかり・渡久地久代・峯岸なつこ・池田源(住友化学株式会社)	29 湛水前の土壌水分や稲わら施用がコナギの発生に及ぼす影響 ○加藤茂・三木孝昭・阿部大介・岩石真嗣(自然農法センター)	57 秋田県のダイズ圃場におけるアメリカサガオ(<i>Ipomoea hederacea</i> Jacq.)の発生 ○森田弘彦・小笠原希美・吉田ゆい奈・金子美咲(秋田県立大生物資源科学部)・三浦恒子(秋田県農試)	田丸洋(三井化学アグリ)	庄司浩一(神戸大農)	川名義明(東北農研)
11:15	2 新規水稲用除草剤メタゾスルフロに関する研究-2(クログワイの地上部および地下部に与える影響) ○矢野哲彦・宮崎隆雄・石松純・鈴木宏一(日産化学工業)	30 稲わら分解を指標とした寒冷地有機水稲栽培の雑草防除 * ○三木孝昭・岩石真嗣・阿部大介・加藤茂(自然農法センター)	58 秋田県のダイズ圃場におけるナルコピエ(<i>Eriochloa villosa</i> Kunth)の発生と種子生産特性 ○森田弘彦・吉田ゆい奈・小笠原希美(秋田県立大生物資源科学部)			
11:30	3 水稲用除草剤ピラクロニルの効果変動要因について ○牛口良夫・高橋勝弘・岡本憲一(協友アグリ)	31 代かき前の米ぬかおよび大豆の施用が水田雑草の発生と水稲の生育・収量に及ぼす影響 ○月森弘・安達康弘(島根県農業技術センター)	59 水稲中干し期におけるアレチウリの発生 徐錫元(協友アグリ)			
11:45	4 2012年九州地域の多雨条件下での水稲用除草剤の効果変動 ○山口晃・大隈光善・半田浩二・古賀巧樹(植調協会福岡試験地)	32 島根県内の水稲有機栽培ほ場における雑草埋土種子の垂直分布 * ○安達康弘・月森弘・小塚雅弘・道上伸宏・松原隆敏(島根農技センター)	60 宮城県の津波被災農地における雑草植生の変化とコウキヤガラ発生リスクマップの作成 * ○大川茂範・安藤慎一朗・北川誉紘(宮城県古川農試)・浅井元朗(中央農研)	池田源(住友化学)	岩石真嗣(自然農法セ)	小笠原勝(宇都宮大雑草科学)
12:00	5 外来雑草アマゾンチカガミに対する数種水田除草剤の効果 ○濱村謙史朗・阿部秀俊(植調研究所)・大島匡郎(植調古川)・廣田伸七(全農教)	33 ヒエ属雑草、コナギ、イヌホタルイに対する深水管理の影響 青木大輔・○内野彰・三浦重典・野副卓人(中央農研)・吉田隆延・藤田耕一・水上智道・田中庸之(生研センター)・中山祐一郎(大阪府大)・川名義明(東北農研)・渡邊寛明(中央農研)	61 宮城県の津波被災農地における効果的なコウキヤガラ防除法 * ○大川茂範・北川誉紘・安藤慎一朗・石橋まゆ・内海翔太(宮城県古川農試)			
12:15	6 水稲関係除草剤試験成績書を基にした水稲収量に対する雑草害の推定 ○濱村謙史朗・阿部秀俊・穂坂尚美・横山昌雄(植調研究所)・坂齊(名城大学)	34 農村畦畔のシバによる省力管理法の検討 ○伏見昭秀・橋雅明(近畿中国四国農業研究センター)	62 福島県いわき市に発生している雑草の放射性セシウム含量 * ○好野奈美子・坂本祥太・佐々木秀明(いわき明星大)			
ポスター説明						

4月14日(日)

A会場		B会場		C会場		
開始時刻	Session A3 水稲用除草剤／水田雑草	座長	Session B3 畑雑草／畑地用除草剤	座長	Session C3 雑草の生態	座長
10:00	7 新規直播水稲用除草剤イマズスルフロン・プロモブチド・ピリミノバックメチル1キロ粒剤の作用特性 ○西山孝行・塚本修・池田源(住友化学株式会社)	熊田秀治(日本農業)	35 インセクタリアープラントとして利用されるソバ類の雑草抑制効果 * ○松尾光弘・今山和成・大野和朗(宮崎大学農学部)	小荒井晃(九州沖縄農研)	63 都市空間に生育するスミレ属植物の光環境特性 ○根本正之・山田晋(東大院)、吉田均(カインズホーム)、田淵誠也(日本すみれ研究会)	水口亜樹(福井県立大)
10:15	8 水稲湛水直播栽培で播種前・播種当日処理も可能なピラゾキシフェン・ベンゾピシクロン混合剤の生物性能 * ○宮下めぐみ・西村研吾・菅沼丈人・大野研・吉井博(石原産業株式会社)		36 そばとの輪作が大豆作雑草の発生量に及ぼす影響 福見尚哉(鳥取県大山普及支所)		64 火入れによるクララ種子の硬実打破について ○伊藤一幸・藤原さゆり(神大・農)・近藤史(京大・アフリカ研)	
10:30	9 水稲乾田直播栽培におけるフルセトスルフロン・カルフェントラゾンエチル顆粒水和剤の入水前茎葉散布剤としての生物性能 * ○菅沼丈人・井櫻賢二・小林庸輔・大野研・吉井博(石原産業株式会社)		37 コムギおよびオオムギの植栽・すき込みが雑草の出芽と成長に及ぼす影響 ○露崎浩・成田絵里奈・嶋田浩(秋田県立大)		65 江津湖(熊本市)における特定外来生物ボタンウキクサの越冬 * ○玉田勝也・伊藤一幸(神戸大農)・中島雄(熊本農研)	
10:45	10 水稲直播栽培でのダイムロンの新たな活用法ー種子粉衣処理の薬害軽減能付与による雑草イネ防除ー * ○山崎明彦・関野景介・山田祐司((株)エス・ディー・エス バイオテック)・酒井長雄(長野農試)・牛木純・赤坂舞子・渡邊寛明(中央農研)		38 有機ダイズ栽培の雑草制御～コムギリレー間作とオオムギリピングマルチ栽培の効果～ ○岩石真嗣・千嶋英明・石綿薫((公財)自然農法国際研究開発センター)		66 新大和川の河川敷における外来植物の植生動態 * ○田中孝・中山祐一郎(大阪府立大学)・保田謙太郎(秋田県立大学)・植村修二(大阪府立農芸高等学校)	
11:00	11 薬害軽減のためのダイムロン種子粉衣時の添加と播種前処理除草剤 ○酒井長雄・青木政晴(長野農試)・山崎明彦・関野景介・山田祐司(エス・ディー・エス バイオテック)・牛木純(北農研)・赤坂舞子・渡邊寛明(中央農研)		39 新規トウモロコシ用除草剤トブラメゾンの作用特性と適用性 ○山田茂雄・高橋明裕(日本曹達株式会社)・黒川俊二((独)農研機構中央農業総合研究センター)		67 穀物輸入港とその周辺に生育するドクムギ属の遺伝構造・輸入穀物由来と考えられる個体はどこまで広がっているか? * ○下野嘉子(京大)・下野綾子(筑波大)・小沼明弘(農環研)・富永達(京大)	
11:15	12 畑転換による雑草イネの防除対策 ○酒井長雄・青木政晴(長野農試)	内野彰(中央農研)	40 ニコスルフロン乳剤の多年生イネ科雑草に対する効果と混用性能について * ○山田龍・寺田隆志・吉井博(石原産業株式会社)	浅井元朗(中央農研)	68 自然植生保全地域における外来雑草の管理優先順位決定法の構築 ○西田智子・細木大輔*・早川宗志・徳岡良則・三上光一・楠本良延(農環研)*現:静岡県在住	山下雅幸(静岡大農)
11:30	13 数種の作付体系による雑草イネ埋土種子量への影響と動態モデルによる試算 ○青木政晴・酒井長雄(長野農試)・浅井元朗(中央農研)		41 ダイズ作圃場におけるアレチウリの出芽・種子生産と各種除草剤への反応 * ○安藤慎一朗・三上綾子・石橋まゆ・内海翔太・大川茂範・辻本淳一*(宮城古川農試,*元宮城古川農試)		69 白山におけるミヤマアワガエリとオオアワガエリの雑種形成の可能性 ○中山祐一郎・則岡英里・佐野沙樹(大阪府立大学・生命環境科学)・柳生敦志(石川県立金沢商業高校)	
11:45	14 オモダカの塊茎形成推移と塩素酸ナトリウム粒剤の水稲刈跡処理による新規塊茎形成抑制効果 * ○金安洋典・橋本年男・佐藤正・関野景介((株)エス・ディー・エス バイオテック)		42 宮城県のダイズ栽培におけるベンタゾン液剤処理適期の再検討 * ○石橋まゆ・安藤慎一朗・三上綾子(宮城古川農試)		70 発育指標モデルを用いた開花重複度の気象条件による不確実性評価 * ○大東健太郎・吉村幸幸・松尾和人(農環研)・水口亜樹(福井県立大)	
昼 食 休 憩						

	A会場		B会場		C会場	
開始時刻	Session A4 水田雑草/海外/アレロパシー	座長	Session B4 畑雑草/畑地用除草剤	座長	Session C4 雑草の生態/除草剤抵抗性	座長
13:00	15 ヒエ属植物の地理的変異について2 日本産タイヌビエの葉緑体DNA変異 ○保田謙太郎(秋田県大)・青木大輔(中央農研)・中山祐一郎(大府大)・山口裕文(東農大)	濱村謙史朗(植調研究所)	43 グリホサートカリウム塩 48% 液剤の帰化アサガオ類に対する効果-除草効果及び種子形成と発芽能力に与える影響- * ○宮崎隆雄・池田大行・矢野哲彦(日産化学工業)	荒木順一(全農)	71 エンマコオロギによる実生捕食が雑草の死滅に及ぼす影響:雑草出芽深度との関連 * ○市原実(静岡農研)・内田智・藤井聖・山下雅幸・澤田均(静岡大農)・稲垣栄洋(静岡農林研)	渡邊修(信州大農)
13:15	16 耕土下層に埋設した数種水田雑草種子の発芽-埋設後37年目の結果- ○渡邊寛明・川名義明・小荒井晃・児嶋清・森田弘彦*・伊藤一幸**・宮原益次***・片岡孝義****・千坂英雄****(農研機構,*秋田県立大・生資,**神戸大・農,**元農水省農研セ,**元農水省農事試)		44 ダイズと帰化アサガオ類の葉齢展開からみたベンタゾン液剤の処理適期の推定と2回処理効果 ○澁谷知子・黒川俊二(中央農研)		72 コオロギ類による種子採食量と種子サイズの関係 * ○藤井聖・澤田均・山下雅幸(静岡大・農) 市原実・稲垣栄洋・松野和夫・清木千恵子(静岡農林研)	
13:30	17 西アフリカ、ガーナ産スズメノコビエ(<i>Paspalum scrobiculatum</i>)の種子発芽特性と現地不耕起直播イネ圃場の雑草に対するブタクロールの好適処理時期 ○内野彰(中央農研)・森田弘彦(秋田県立大)・Fuseini Abraham・Fulera Tahiru (SARI)・坂上潤一(国際農研)		45 大豆畑におけるマルバルコウの出芽パターンに基づく防除体系の検証 ○黒川俊二・澁谷知子(中央農研)		73 キクツキコモログモはコオロギ類の雑草種子捕食を抑制するか? * ○名井健・山下雅幸・澤田均(静岡大農)・市原実(静岡農林研)	
13:45	18 ガーナ内陸低湿地における水田雑草に対する農業普及員の意識 ○圃晴行(国際農研)		46 FOEASによる地下水水位制御がコムギ作の雑草防除に及ぼす影響 ○大段秀記・住吉正・小荒井晃(九州沖縄農業研究センター)		74 エンマコオロギによるスベリヒコ種子の被食散布 内田智・○山下雅幸・足立行徳・澤田均(静岡大農)・市原実(静岡農林研)	
14:00	19 アメダス観測地点における雑草発生状況とグーグルアースによる表示 ○藤井義晴(東京農工大)・野村卓史(東京農工大)・中谷敏子(中央農研)	加藤尚(香川大農)	47 麦の浅耕二工程播種と晩播による除草剤抵抗性スズメノテッポウの防除 * ○大野礼成・佐藤大和(福岡農総試筑後分場)・平田朋也・小田原孝治(福岡農総試)	大段秀記(九州沖縄農研)	75 スイカズラの生活史、ならびに変色花の研究 * ○山口朋也・汪光熙・横内茂(名城大)・大畑孝二(豊田市自然観察の森)	今泉智通(中央農研)
14:15	20 ブラジル北部パラ州の遷移型アグロフォレストリーにおける草本および木本のアレロパシー活性の検索 * ○塚野桂*・山田祐彰*・及川洋征*・Helio Makoto Umemura*・Tiago Henrique Rombola***・Edivaldo Domingues Velini**・藤井義晴*(東京農工大 **UNESP)		48 雑草の発生が硬質小麦の子実タンパク質含有率に及ぼす影響 ○内川修・岩淵哲也・宮崎真行・平田朋也・浦広幸・緒方大輔(福岡農総試)		76 山形県で発生するスルホニルウレア系除草剤抵抗性オモダカの変異抵抗性とALS遺伝子変異 * ○松田晃(山形農総研セ)・青木大輔・内野彰(中央農研)	
14:30	21 <i>Heracleum</i> seed volatiles elicit plant growth inhibitory property ○Mishyna M. (Tokyo University of Agriculture and Technology) and Fujii, Y. (Tokyo University of Agriculture and Technology)		49 埋土種子駆除を目的とした高圧蒸気による種子死滅要因の種間比較 * ○西村愛子・浅井元朗(中央農研) 中村浩也(丸文製作所)		77 宮城県の水稲作圃場におけるALS阻害剤交差抵抗性イヌホタルイの確認 * ○大川茂範・北川誉紘(宮城県古川農試)・青木大輔・内野彰(中央農研)	
14:45	22 プラントボックス法を用いたアブラナ科植物によるメヒシバ生育抑制の検討 * ○鈴木克征(東京農大)・野口有里紗(東京農大)・藤井義晴(東京農工大)		50 自走式蒸気除草機のコムギ収穫後処理がネズミギ種子死滅、出芽抑制効果およびコムギ収量に及ぼす影響 ○石田義樹・木田場一(静岡農林技研)・浅井元朗・西村愛子(中央農研)・中村浩也((株)丸文製作所)		78 ピリメスルファン系のスルホニルウレア系除草剤抵抗性イヌホタルイに対する除草効果 * ○高山尊之・菅原秀美・小林方美・山地充洋(クミアイ化学)	
休憩						

	A会場		B会場		C会場	
開始時刻	Session A5 アレロパシー／天然物	座長	Session B5 畑雑草	座長	Session C5 除草剤抵抗性	座長
15:15	23 Evaluation of Allelopathic Activity of <i>Leucas aspera</i> against Different Test Plant Species * ○Mominul Islam, A.K.M. and H. Kato-Noguchi (Faculty of Agriculture, Kagawa University)	森本正則（近畿大農）	51 関東地方の水田輪作コムギ圃場におけるネズミギの動態：6年間の経年簡易調査と動態モデルの適合度 ○浅井元朗・大下泰生・淵山律子（農研機構・中央農研）	黒川俊二（中央農研）	79 シハロホップブチル抵抗性ノビエに対する除草剤体系防除 那須英夫（全農おかやま）	汪光熙（名城大）
15:30	24 アカマツ林の土壌含水メタノール抽出物に含まれるアレロパシー物質の単離・同定 * ○木村落子（香川大学農学部）・大野修（慶應義塾大学理工学部）・加藤尚（香川大学農学部）		52 関東東山地域のコムギ作におけるヤグルマギクの出芽消長と各種除草剤の防除効果 ○関口孝司（埼玉農総研）・青木政晴（長野農試）・浅井元朗（中央農研）		80 タイヌビエの多剤抵抗性系統における2種シトクロムP450のベンシルフロメチル低感受性への関与とその制御 * ○岩上哲史（京大）・遠藤真咲・雑賀啓明（生物研）・渡邊寛明（中央農研）・土岐精一（生物研）・内野彰（中央農研）・稲村達也（京大）	
15:45	25 アスバラガス根茎のアレロパシー候補物質iso-agatharesinolの単離 * ○中村圭佑・奥田延幸・加藤尚（香川大学大学院農学研究科）		53 数種外来雑草種子の圃場落下後の出芽 徐錫元（協友アグリ）		81 静岡県袋井市の水田畦畔におけるグリホサート抵抗性ネズミギの出現 * ○新實由貴1・池田六洋2・山下雅幸2・石田義樹3・浅井元朗4・下野嘉子1・富永達1・澤田均2（1京大・農,2静岡大・農,3静岡農林研,4中央農研）	
16:00	26 Allelopathy of <i>Cymbopogon nardus</i> (Linn.) Rendle * ○Prapaipit, S. and H. Kato-Noguchi (Faculty of Agriculture, Kagawa University)	吉岡俊人（福井県立大）	54 帰化アサガオ類の出芽に及ぼす種子の成熟度の影響 徐錫元（協友アグリ）	澁谷知子（中央農研）	82 静岡県中遠地域におけるグリホサート抵抗性ネズミギの分布状況 ○石田義樹（静岡農林技研）・新實由貴・下野嘉子（京都大農）・小池清裕（静岡県中遠農林）・市原実・木田揚一（静岡農林技研）・山下雅幸（静岡大農）・浅井元朗（中央農研）・富永達（京都大農）・澤田均（静岡大農）	
16:15	27 Phytotoxic and antiphytopathogenic activities of constituents from <i>Alpinia galanga</i> rhizomes Morimoto, M.1, ○R. Mongkol2, M. Ishida1, W. Chavasiri2 and K. Matsuda1 (1 School of Agriculture, Kinki University, 2 Faculty of Science, Chulalongkorn University)		55 種子休眠と環境の交互作用：過湿条件が夏畑雑草の出芽動態に与える影響 * ○今泉智通・渡邊寛明・浅井元朗（中央農研）		(開場)	
16:30	28 帰化雑草セイヨウヒキヨモギ属植物の二次代謝産物の機能性と国内分布拡大 * 森本正則・○石田実希・東村聡太（近畿大農）・Rachsanon Mongkol（チュラロンコン大理）・松田一彦（近畿大農）		56 「上農は草を見ずして草をとる」という格言の由来 三浦励一（京都大農）			

(16:45 全プログラム終了予定)

ポスター発表 演題・著者一覧

※ 著者が連名の場合は発表者（説明担当者）に○を付しています。

※ 発表者名の左に*が付された発表は、ベストポスター賞の選考対象（若手による発表）です。

奇数番 コアタイム	4月13日(土) 13:30 ~ 14:00 4月14日(日) 9:15 ~ 9:45	偶数番 コアタイム	4月13日(土) 14:00 ~ 14:30 4月14日(日) 8:45 ~ 9:15
講演 番号	分類 番号	講演 番号	分類 番号
演題・著者(著者所属)		演題・著者(著者所属)	
P01	4	P02	1-1
The problem of Invasive <i>Heracleum</i> Species in Belarus ○Mishyna, M. (TUAT), Laman, N. (Inst. Exp. Bot., Belarus), Prokhorov, V. (Inst. Exp. Bot., Belarus) and Fujii, Y. (TUAT)		秋田県大潟村用水路でみつかった絶滅危惧種イトクスモの遺伝的多様性 ○保田謙太郎(秋田県大)・高田順(秋田自然史研究会)・尾崎保夫(秋田県大)	
P03	1-1	P04	1-1
簡易植生調査法による京都府丹波北部地域のアズキ栽培水田転換畑における雑草発生の実態 ○大橋善之・大門弘幸(大阪府大院・生命環境)		岡山市街地の地域用水における沈水雑草の発生分布状況 * ○中嶋佳貴・沖陽子(岡山大・環境生命科学研究科)	
P05	1-1	P06	1-2
* 二級河川における攪乱と沈水雑草の種組成との関係 ○仁内実和・金井那波・中嶋佳貴・沖陽子(岡山大・環境生命科学研究科)		乾燥クラゲ類を施用が緑化用植物の発芽・出芽および生育に与える影響 ○江崎次夫・中谷早織・河野修一・川崎哲郎(愛媛大農)・稲本亮平(愛媛県庁)・全権雨(江原大山林)	
P07	1-2	P08	1-2
* キキョウおよびオミナエシの被陰条件下での生育とキキョウの発芽特性 ○尾崎由布子(京大・農)・三浦勲一(京大・農)・服部保(兵庫県大・自然・環境)・富永達(京大・農)		ナルトサワギク刈取り後の再生と秋期の気温との関係 馬場玲子(大阪府立環農水研)	
P09	1-2	P10	1-2
ヒイラギヤブガラシ種子における人為的発芽方法の検討 ○與儀喜代政(沖縄県北部農改普及課)・高江洲賢文(沖縄県農研セ)		* 数種の雑草イネにおける種子の休眠性および低温耐性 ○赤坂舞子・中谷敬子(中央農研)・細井淳(長野県農試)・渡邊寛明(中央農研)	
P11	1-3	P12	1-3
兵庫県但馬地域における「コウノトリ育む農法」と慣行農法との収量および収量構成要素の比較 ○須藤健一*・澤田富雄・鍋谷敏明**・榎本拓司***・山元義久・戸田一也(兵庫農技セ)・*現・植調協会、**現・丹波農改、***現・南淡路農改		* チガヤ根茎のメタノール抽出物のアレロパシー活性 ○鈴木将彦(香川大・農)・富永達(京都大・農)・加藤尚(香川大・農)	
P13	1-3	P14	1-3
* 水生雑草に対するランタナ(<i>Lantana camara</i> L.)地上部の水溶性浸出液のアレロパシー効果 ○田中美涼・伊藤一幸・東哲司(神戸大院・農)		* ゴロツキアザミに含まれるアレロパシー物質の探索 ○渡邊雄亮*, R. M. Varela**, J. M. G. Molinillo**, P. Novaes**, 加藤尚*, F. A. Macias** (*香川大学大学院農学研究科・**カディス大学)	
P15	1-3	P16	1-3
* ダイズの生育に対するマルバツユクサの影響 ○山中佳樹(宮崎大院農)・坂井秀平・松尾光弘(宮崎大農)		* Growth Inhibitory Activity of Five Medicinal Plants on <i>Lactuca sativa</i> and <i>Echinochloa crus-galli</i> ○Mominul Islam, A.K.M. and Hisashi Kato-Noguchi (Faculty of Agriculture, Kagawa University)	
P17	1-3	P18	1-4
ヤブランのアレロパシーと全活性-寄与率法によるアレロゲミカルの同定 野村卓史・野村義宏・○藤井義晴(東京農工大)		福島県二本松市・福島市農地における土壌、雑草、作物中の放射性セシウム濃度の測定 ○佐野俊夫1・堀越龍二1・高山峻1・清水隆1・石井秀樹2・長田敏行1(1法政大生命科学・2福島大うつくしまふくしま未来支援センター)	
P19	1-4	P20	1-5
* 農業用水路における浮島栽培土に用いる土性の差異がシュロガヤツリの水質浄化能力に及ぼす影響 ○西川天平・沖陽子・中嶋佳貴(岡山大・環境生命科学研究科)		雑草を使った草遊びの類型 ○山口裕文・櫻井翔真(東京農業大学農学部)	
P21	1-5	P22	1-5
水田土壌に添加した米ぬかがコナギ種子の発芽促進・抑制に及ぼす影響 一水中または風乾保存種子の土壌溶液中での発芽試験一 ○野副卓人・内野彰・三浦重典(中央農研)		農民・市民参加による農村植生の評価手法の開発(3)分けつ盛期の水田における調査対象種の検討 ○嶺田拓也・竹村武士・坂根勇(農研機構・農工研)	
P23	2-1	P24	2-1
* 水田用小型抑草機械「アイガモロボット」の抑草効果とその機構 ○河原路子・伊藤一幸・庄司浩一(神大・農)・山元義久(兵庫農技セ)・須藤健一(元兵庫農技セ)・陶山純・本荘給未(みのる産業(株))		甲信地域におけるシズイの発生実態と防除 ○上野直也(山梨総農技セ)・酒井長雄・細野哲(長野農試)・石井利幸(山梨総農技セ)	
P25	2-1	P26	2-1
東北地域の水稲湛水直播栽培における深水管理を活用した除草体系の効果 川名義明(農研機構・東北農業研究センター)		* 乗用水田除草機による表層土の移動調査 ○吉田悠未・庄司浩一・土井雅弘・河原路子・川村恒夫(神大農)	

講演 番号	分類 番号	演題・著者(著者所属)	講演 番号	分類 番号	演題・著者(著者所属)
P27	2-1 *	湛水条件におけるイヌビエの萌芽可能性 ○松嶋賢一(1,2)・坂上潤一(3)・森田弘彦(1)(1)秋田県大・ 2)現国際農研・3)国際農研)	P28	2-1	田面水濁度の連続測定装置の開発 ○庄司浩一・國吉美貴・河原路子・川村恒夫・伊藤一幸(神 戸大・農)
P29	2-1	「あきたecoらいす」における一発処理除草剤の雑草ヒエの 除草効果安定のための使用時期の検討 ○三浦恒子(秋田農試)・須田康・田口奈穂子(秋田県仙北 地域振興局)・林雅史(秋田県北秋田地域振興局)・森田弘 彦(秋田県立大)	P30	2-1 *	コナギ種子の発芽に及ぼす芳香族カルボン酸の影響 ○青木大輔・内野彰・野副卓人・田中福代・三浦重典(中央 農研)
P31	2-2	北海道十勝地域の直播タマネギ栽培における発生雑草 ○石川枝津子・辻博之(北農研)	P32	2-2	Effect of weeder machine on occurrences of weed in grain sorghum grown with different planting methods ○Hwang, J.B., Y.S.Yun, K.Y.Jung, C.Y.Park, Y.D.Choi, S.H.Jeon, I.S. Oh (Natl. Inst. Crop Sci, RDA, Korea)
P33	2-2 *	有機栽培におけるチンゲンサイとシュンギクの混植様式の 違いが収量と雑草発生量におよぼす影響 *○堀元栄枝・矢動丸崇昭・上笠喜八・森太郎・尾野喜孝 (佐賀大学)	P34	2-2 *	圃場および生物検定によるハーブ類植物の雑草抑制評価 ○坂本祥昌(宮崎大院農)・松尾光弘(宮崎大農)
P35	2-2 *	蒸気処理条件が帰化アサガオ類種子の硬実打破に与える 影響 ○本庄弘樹・船生岳人・井手康人・奥野綾子・坂紀邦・中嶋 泰則・小出俊則(愛知農総試)、遠藤征馬(愛知農大)、浅井 元朗((独)中央農研)、中村浩也((株)丸文製作所)	P36	2-2	茨城県大規模水田輪作地域の大豆圃場におけるGISを用い た雑草発生動態解析 ○中谷敬子・澁谷知子・淵山律子・鄭凡喜・三浦重典(中央 農研)
P37	2-2	大豆作におけるマメアサガオ、ホオズキ類に対する数種除草 剤の畦間・株間処理での除草効果 ○金久保秀輝・土田邦夫・横山昌雄(植調研究所)	P38	2-3	ススキの導入方法の違いが苗の定着に及ぼす影響 ○大谷一郎・高橋佳孝・堤道生(近中四農研)
P39	2-6	メッシュ被覆資材によるアレチウリの発生抑制効果 ○渡邊修・佐藤賢和・伊藤茜(信大農)	P40	2-6 *	湖岸域の土地切り下げおよび盛り土がヨシ群落の再生に及 ぼす影響 ○大野朋子(大阪府立大)・前中久行(元大阪府立大)・井 上栄壮(琵琶湖環境科学研究セ)・西野麻知子(びわこ成蹊 スポーツ大)
P41	3-2	メタチロシンの植物毒性への活性酸素生成と遊離アミノ酸 の変動の関与 内田千尋・春原由香里・○松本宏(筑波大生命環境)	P42	3-2	オーキシン型除草剤キンクロラクと2,4-Dによる呼吸系へ の影響と遺伝子発現の差異 三輪恭子・○春原由香里・松本宏(筑波大・生命環境)
P43	3-2 *	ミモシンの植物生育抑制機構の検討 ○福島悠介・春原由香里・松本宏(筑波大生命環境)	P44	3-2 *	5-アミノレブリン酸によるトウモロコシの成育促進効果への 窒素代謝能の変化の関与 ○米澤朋起・春原由香里・松本宏(筑波大・生命環境)
P45	3-2	水稲用除草剤ピラクロニルによるノビエでのプロトポルフィリ ンIXの蓄積と光酸化障害の発現 ○高橋勝弘・*松本宏(協友アグリ株式会社・*筑波大 生命 環境)	P46	3-2 *	モミラクトンBがシロイヌナズナの発芽過程のタンパク質発 現に与える影響 ○北島慎也・加藤尚(香川大学大学院農学研究科)
P47	3-2 *	Evidence for the Influence of Cyanamide on Plant Growth Inhibition by Reducing Gibberellin Synthesis ○Maninang, J. S. (Tokyo Univ. Agric. Tech.), Chutinantakun, T., Gemma, H. (Univ. of Tsukuba) and Fujii, Y. (Tokyo Univ. Agric. Tech.)	P48	3-3 *	九州北部のムギ畑に出現したスルホニルウレア系除草剤抵 抗性スズメノテッポウのALS遺伝子における変異 ○真鍋陽平1・下野嘉子1・大段秀記2・三浦励一1・富永達 1(1京都大・農、2九州沖縄農研)
P49	3-3 *	タイムビエの多剤抵抗性系統における2種シクロムP450 のペノキスラム低感受性への関与 ○岩上哲史(京都大)・遠藤真咲・雑賀啓明(生物研)・渡邊 寛明(中央農研)・土岐精一(生物研)・内野彰(中央農研)・ 稲村達也(京都大)	P50	3-4	除草剤の連年施用試験における残留性評価 第1報 バラ コート平均年間残留率からの残留濃度予測 ○中村直紀・奥野潤一・小田中芳次・川田文子・権田重雄・ 横山昌雄(植調協会)

〈分類番号〉

1. 雑草

- 1-1 分類・分布・群落・遷移
- 1-2 生理・生態・形態
- 1-3 雑草害・競合・他感作用
- 1-4 利用・水質浄化・沙漠緑化
- 1-5 その他

2. 雑草の防除・管理

- 2-1 水田
- 2-2 畑・転換畑
- 2-3 草地・芝生
- 2-4 樹園地・林地

2-5 非農耕地

2-6 その他

3. 除草剤

- 3-1 生理活性・作用性(新除草剤紹介)
- 3-2 作用機構・選択性機構
- 3-3 除草剤抵抗性
- 3-4 環境中での動態
- 3-5 剤型・施用法
- 3-6 その他

4. 海外事情

日本雑草学会第52回大会「若手の会」

「若手の会」を下記の通り開催します。若手と称しておりますが、年齢制限はありません。実験計画や統計解析でお困りの方、是非ご参加下さい。皆様のご参加をお待ちしております。

【勉強会】

テーマ：「変量効果について知りた〜い！」&「統計萬相談会♪」

趣旨：野外でデータをとった時、地域間や圃場間、反復間等でバラツキが大きいために実験処理の効果が検出できない（つまり、有意差がでない）ことがあります。また、種内の集団間差を気にしつつ種間差を検討したいとか、実験処理による経時的な変化の違いを検討したいとかいう要望もあるでしょう。そんな時、「変量効果（ランダム効果）を組み込んだらいいじゃん！」と言われたことはありませんか？でもこの変量効果って具体的にはどう組み込んだら良いのでしょうか？そもそも変量効果って何？、変量効果を組み込んだ解析結果ってどう解釈したらいいの？等々。。。こうしたモヤモヤを解消し、変量効果を“使える”ようになるため、今回は私たち世話人が日頃大変お世話になっている光永貴之氏と大東健太郎氏に変量効果についてトコトン解説していただくことにしました。その後、休憩を挟んで「統計萬相談会」をやります。ここでは、参加者のみなさんからの統計に関するお悩みや素朴な疑問について、光永氏や大東氏にお答えいただく時間を設けます。内容は、実験計画や統計解析に関することなら何でも構いません。参加申し込みの際にお寄せ下さい。統計に振り回されない賢いユーザーを目指して共に勉強しましょう♪

日時：平成25年4月12日 14:30~17:30

場所：京都大学北部キャンパス 農生命棟（本会場の北隣の8階建ビル）1階セミナー室1

参加費：無料

プログラム：

1. 水口亜樹（福井県大）「趣旨説明」
2. 光永貴之（中央農研）「変量効果を考えた統計モデルについて（仮）」
3. 大東健太郎（農環研）「一般化線形混合モデルを用いた水稻の自然交雑に関わる要因の解析例」（休憩）
4. 「統計萬相談会」

【懇親会】

日時：平成25年4月12日 18:30~

場所：京都大学周辺の居酒屋

参加費：割勘（学割有り）

【申し込み】

E-mailでお申し込み下さい（氏名、所属、勉強会／懇親会の出欠、メールアドレス、統計のお悩み・質問）。

お申し込みは、勉強会、懇親会とも、平成25年4月5日（金）までをお願いします。

申し込み、問い合わせ先：若手の会 E-mail. zassouwakate@gmail.com

詳しい情報については、雑草学会若手の会ウェブサイト をご覧ください。

<https://sites.google.com/site/zassougakkaiwakatenokai/>

若手の会 世話人 水口亜樹・今泉智通・下野嘉子・市原実

日本雑草学会第 52 回大会運営委員会名簿

大会運営委員長	富永 達	京都大学
幹 事	三浦 励一	同上
	下野 嘉子	同上
委 員	池田 源	住友化学（株）
	伊藤 一幸	神戸大学
	大橋 善之	京都府農林水産技術センター
	鎌田 祐介	日本農薬（株）
	須藤 健一	（財）日本植物調節剤研究協会 兵庫試験地
	田丸 洋	三井化学アグロ（株）
	中井 讓	滋賀県農業技術振興センター
	中山祐一郎	大阪府立大学
	森本 正則	近畿大学
	吉井 博	石原産業（株）

（五十音順 敬称略）

【会場へのアクセス】

講演会・総会会場（第3図）への主要な経路は下記のとおりです。いずれの場合も市バスをご利用の上、「京大農学部前」でお降りください。

観光シーズンの休日にあたり、市内は混雑・渋滞が予想されますので、余裕をもってご来場ください。京都駅前からのバスは、乗車待ちの列ができることがあります。JR線でお着きの場合は下記1）、大阪・奈良方面からは京阪電車をご利用の上、下記2）の経路をお勧めします。

1) 京都駅から

地下鉄烏丸線（国際会館行き）にのりかえ、今出川駅下車（約10分）、3番出口の東バス停「烏丸今出川」から市バス203系統東向き（約10分）

2) 京阪電車出町柳駅から

4番出口の東、バス停「出町柳駅前」から市バス17系統・203系統東向き（約5分）

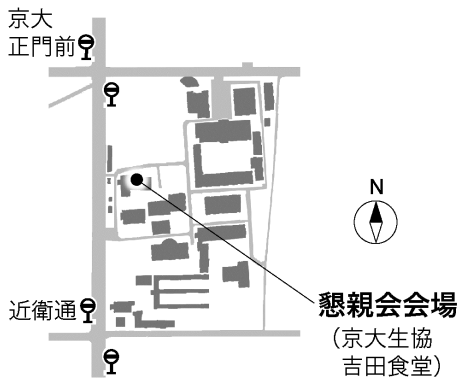
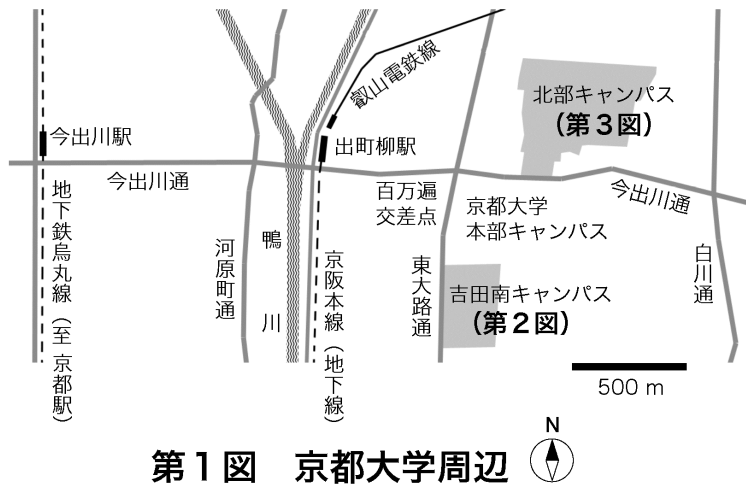
3) 阪急電車河原町駅から

四条河原町交差点から北へ約100m、バス停「四条河原町」（銀閣寺・百万遍方面行きのりば）から市バス17系統（約20分）

4) 京都駅から

在来線中央口バスターミナルA2のりばから市バス17系統（約40分）

- ・（ ）内に示した所要時間は標準的なもので、乗り換え時間を含みません。
- ・バス料金はいずれも220円均一です。



第2図 吉田南キャンパス

第3図 北部キャンパス